

経理実務コース 財務分析 コントロールタワー（Ⅰ）

回 数	学習テーマ	ページ	演習問題
第 1 回	第 1 章 財務諸表の概要 ■ 1 財務諸表の作成目的 ■ 2 財務諸表の種類	P 2 ～ P 20	問題 1 問題 2
	第 2 章 損益計算書 ■ 1 損益計算書の概要 ■ 2 損益計算書の構造 ■ 3 損益計算書の項目 ■ 4 損益計算書の作成ルール		
	第 3 章 貸借対照表 ■ 1 貸借対照表の概要 ■ 2 貸借対照表の構造 ■ 3 貸借対照表の項目 ■ 4 貸借対照表の作成ルール		
第 2 回	第 4 章 キャッシュフロー計算書 ■ 1 キャッシュフロー計算書の概要 ■ 2 キャッシュフロー計算書の構造 ■ 3 キャッシュフロー計算書の具体例	P 22 ～ P 48	問題 3 問題 4
	第 5 章 株主資本等変動計算書 ■ 1 株主資本等変動計算書の概要 ■ 2 株主資本等変動計算書の構造		
	第 6 章 財務分析の概要 ■ 1 財務分析の目的 ■ 2 財務分析の手法 ■ 3 財務分析の具体例		
	第 7 章 総合収益性分析 ■ 1 総合収益性分析の目的 ■ 2 総合収益性分析の代表的な財務指標		
	第 8 章 収益性分析 ■ 1 収益性分析の目的 ■ 2 収益性分析の代表的な財務指標 ■ 3 百分率損益計算書		
第 3 回	第 9 章 効率性分析 ■ 1 効率性分析の目的 ■ 2 効率性分析の代表的な財務指標		
	第 10 章 安全性分析 ■ 1 安全性分析の目的 ■ 2 安全性分析（静的分析）の分類 ■ 3 安全性分析の代表的な財務指標		

経理実務コース 財務分析 コントロールタワー（Ⅱ）

回 数	学習テーマ	ページ	演習問題
第3回	第11章 生産性分析 ■1 生産性分析の目的 ■2 付加価値の意義 ■3 生産性分析の代表的な財務指標	P54 ～ P80	問題5 問題6
	第12章 成長性分析 ■1 成長性分析の目的 ■2 成長性分析の代表的な財務指標		
	第13章 キャッシュフロー分析 ■1 キャッシュフロー分析の目的 ■2 活動別のキャッシュフロー ■3 キャッシュフロー分析の手法		
	第14章 ケーススタディ ■1 ケーススタディ① ■2 ケーススタディ② ■3 ケーススタディ③		

経理実務コース 財務分析 CONTENTS

第1章 財務諸表の概要

- 1 財務諸表の作成目的 2
- 2 財務諸表の種類 2

第2章 損益計算書

- 1 損益計算書の概要 6
- 2 損益計算書の構造 6
- 3 損益計算書の項目 7
- 4 損益計算書の作成ルール 8

第3章 貸借対照表

- 1 貸借対照表の概要 1 4
- 2 貸借対照表の構造 1 4
- 3 貸借対照表の項目 1 6
- 4 貸借対照表の作成ルール 2 0

第4章 キャッシュフロー計算書

- 1 キャッシュフロー計算書の概要 2 2
- 2 キャッシュフロー計算書の構造 2 3
- 3 キャッシュフロー計算書の具体例 2 3

第5章 株主資本等変動計算書

- 1 株主資本等変動計算書の概要 2 8
- 2 株主資本等変動計算書の構造 2 8

第6章 財務分析の概要

■ 1 財務分析の目的	3 2
■ 2 財務分析の手法	3 2
■ 3 財務分析の具体例	3 4

第7章 総合収益性分析

■ 1 総合収益性分析の目的	3 8
■ 2 総合収益性分析の代表的な財務指標	4 0

第8章 収益性分析

■ 1 収益性分析の目的	4 4
■ 2 収益性分析の代表的な財務指標	4 4
■ 3 百分率損益計算書	4 6

第9章 効率性分析

■ 1 効率性分析の目的	4 8
■ 2 効率性分析の代表的な財務指標	4 8

第10章 安全性分析

■ 1 安全性分析の目的	5 4
■ 2 安全性分析（静的分析）の分類	5 5
■ 3 安全性分析の代表的な財務指標	5 5

第11章 生産性分析

■ 1 生産性分析の目的	6 0
■ 2 付加価値の意義	6 0
■ 3 生産性分析の代表的な財務指標	6 1

第12章 成長性分析

■ 1 成長性分析の目的	6 4
■ 2 成長性分析の代表的な財務指標	6 4

第13章 キャッシュフロー分析

■ 1	キャッシュフロー分析の目的	6 6
■ 2	活動別のキャッシュフロー	6 6
■ 3	キャッシュフロー分析の手法	6 7

第14章 ケーススタディ

■ 1	ケーススタディ①	7 2
■ 2	ケーススタディ②	7 5
■ 3	ケーススタディ③	7 9

■本教材の内容及び関係法令書類につきましては、平成28年4月1日確定している法令等に基づき作成しておりますが、平成30年4月1日現在改正の影響はございません。

経理実務コース 財務分析

第1章 財務諸表の概要

1. 財務諸表の作成目的	2
2. 財務諸表の種類	2

1

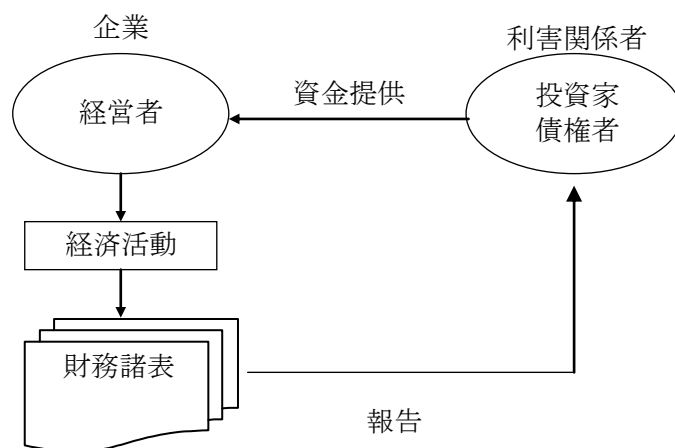
財務諸表の概要

財務諸表の作成目的、財務諸表の種類

■ 1 財務諸表の作成目的

企業経営者には、利害関係者から委託された資金の運用の状況とその結果など、企業の状況（財政状態、経営成績）に関する内容を報告することが求められます。

企業経営者は、企業の財政状態や経営成績に関する内容を取りまとめ、利害関係者に対して定期的に報告する必要がある、その報告の手段として用いられるのが「財務諸表（貸借対照表、損益計算書など）」です。



財務諸表を作成するためには日々の取引を記録する必要があります。企業の活動を一定の方法で帳簿に記録・計算・整理することを「簿記」といいます（「帳簿記入」の略です）。

本来、財務諸表の作成には簿記のルールが前提になりますが、財務諸表を通じて企業の業績を分析するためには、それほど細かい簿記の知識は必要ありません。

■ 2 財務諸表の種類

利害関係者を適切に保護し、企業の状況に関する判断を誤らせることがないようにするために、特定の外部報告に対して法律上の規制を設けて、強制力をもたせています。代表的なものとして会社法に基づく会社法会計と金融商品取引法に基づく金融商品取引法会計があります。それぞれの法律が規定する財務諸表は、次のとおりです。

計算書類（会社法）	財務諸表（金融商品取引法）
① 貸借対照表	① 貸借対照表
② 損益計算書	② 損益計算書
③ 株主資本等変動計算書	③ 株主資本等変動計算書
④ 個別注記表	④ キャッシュフロー計算書
	⑤ 附属明細表

損益計算書、貸借対照表、キャッシュフロー計算書をあわせて、財務3表といいます。財務3表は、企業の業績を分析するにあたってのベースになります。

